



木更津市議会会派 立憲民主 ほりきり俊一 議会報告 No.2

～市民の生活を守り、草の根からの民主主義を実現する～

令和3年
8月23日発行

〔発行〕木更津市議会
会派：立憲民主

〒292-0833 木更津市貝渕4-10-5 E-mail suwa-s-s@silver.plala.or.jp

新型コロナウイルス感染症は現在もなお、収束への道が見えてきません。

様々な被害に遭われた市民・事業者の皆様にお見舞いを申し上げますと共に、医療機関等でご尽力いただいている皆様に心より感謝申し上げます。

木更津市議会での活動も2年が過ぎました。皆様からのご支援、ご協力に感謝申し上げます。この間に私が歯がゆく思ったことは、木更津市から提案された議案が全て圧倒的多数で可決されることです。当然のことながら、**議会は行政の追認機関ではありません。チェック機関としての機能を果たすべきです。**

せめて私だけでもその役割を自覚して、活動していきたいと思っています。

昨年度9月から今年度6月までの市議会定例会で、私が「議案等で市議会の議決と異なる表決をしたこと」及び「一般質問で取り上げたこと」を紹介させていただきます。これをきっかけに、**市民の皆様と木更津市政について共に考えてまいりたい**と思います。

私が市議会の議決と異なる表決をしたこと

● 基地対策関係施設に関する要望書（発議案）について

令和2年9月定例会

反対理由

オスプレイの暫定配備に関して防衛省に**交付金等の一層の充実**を求めるものであり、これが常態化すれば**恒久配備に繋が**りかねません。



イメージ写真

● 専決処分の承認について

令和3年3月定例会

反対理由

●「**アクアコイン**加盟店応援前払促進事業費」として**アクアコイン加盟店のみ**を支援するために「きさ食(クー)PON 第2弾」を実施するための経費200万円を産業振興基金から専決で支出したものです。

- この事業により**支援を受けられるのは86店舗で市内飲食店の6%ほど**に過ぎませんでした。
- アクアコイン加盟店を増やしたい**との思惑ですが、この事業で150万円ほどの支援を受けた店舗もあり、あまりに不公平です。



予算案について

● 令和2年度木更津市一般会計補正予算案(第10号)

令和3年3月定例会

反対理由

これも「**アクアコイン**加盟店応援前払促進事業費」として**新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金**から、190万円を財源として**アクアコイン加盟店のみ**を支援の対象とした「きさ食(クー)PON 第3弾」を実施しようとするものです。

● 令和3年度木更津市一般会計予算案

令和3年3月定例会

反対理由

- 新型コロナウイルス感染症の影響で税収は減少しましたが、市債の発行により予算額は増加しています。
- 社会保障費などの民生費は増加しましたが、**教育費・農林水産費などは大幅に減少**しました。
- 市債の発行により江川総合運動場拡張整備事業費(3年継続で約11億円)、パークベイプロジェクト推進事業費(4年継続で約7億6千万円)等のいわゆる「箱ものづくり」は、大幅に増加しました。
- 収入減で生活に困窮する**市民や事業者のための予算配分**をすべきです。
- 予算配分の地域差**も大きく、「分配の不公平」が際立っています。

● 令和3年度木更津市一般会計補正予算案(第2号)

令和3年6月定例会

反対理由

- 「子育て応援ミールポイント事業」はマイナンバーカードに紐付けしたために**支援を受けられない世帯**があり、事業者はアクアコインに紐付けしたために**市内飲食店のわずか21%程度**しか支援を受けられません。そのための予算額は1,100万円以上です。ほかにも**アクアコイン関係**として「アクアコイン普及事業費(230万円)」、「行政ポイント推進事業費(429万9千円)」、「中小企業キャッシュレス決済普及推進事業費(500万円)」などの予算が組まれました。
- 「木更津発オーガニックブランド創出事業費(150万円)」は、**7事業所しか対象**となりません。
- これらの財源はすべて困窮する市民や事業者**に公平に、「きめ細やかに」分配**すべき新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金です。

市民からの陳情・請願について 議会では反対の議決でしたが、私は賛成しました

● JR内房線へのワンマン運転導入に関する陳情書

令和3年3月定例会

賛成理由

JR内房線のワンマン運転の開始により、**安全面での懸念が増加**するばかりでなく、障がい者・高齢者等の介助の問題等**バリアフリーの面でも問題**があります。周辺住民への説明も不十分です。



● 75歳以上の医療費窓口負担について 原則1割負担の継続を求める陳情書

令和3年3月定例会

賛成理由

後期高齢者の生活をますます苦しいものにする結果、医療機関への受診控えによる重症化などの現象も予想され、**後期高齢者の健康への影響**が大きいものと判断しました。

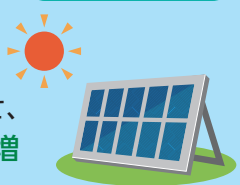


● 2030年エネルギー基本計画改定に関する意見書の提出に関する陳情書

令和3年6月定例会

賛成理由

脱炭素社会に向けて石炭火力発電の割合を減少させ、原子力発電を廃止し、**再生可能エネルギーの割合を増や**していこうとする内容です。



● 産業廃棄物最終処分場「君津環境整備センター」第1期処分場漏洩事故の改善を求める請願書

令和3年6月定例会

賛成理由

産業廃棄物最終処分場からの汚染物質による水源への被害から、**周辺住民の健康や農業用水などを守**ろうとする内容です。



● アクアコインの利用拡大に公費をいくら注ぎ込むのか(すでに1億1千万円以上の公費が)

- 「オーガニックなまちづくり」→「域内消費の拡大」→「アクアコインの普及促進」は渡辺木更津市長が中心となって進める「木更津市基本計画」の中心施策の一つです。
- しかし、木更津市が昨年度に実施した市民アンケートによれば、アクアコインについて「よく知らない」と「利用したことがない」を合わせると94.3%。「利用したことがある」と「よく利用している」の合計はわずか5.2%という結果でした。
- そこで木更津市はアクアコイン加盟店と利用者を増やすために、ポイント等の大盤振る舞いをしています。
- この政策の一番の問題点は、アクアコイン利用時に付与されるポイントなどの原資や事業費のほとんどが国からの交付金や木更津市の一般財源、つまり公費であるということです。
- すでにこの4年間で1億1千2百万円以上の公費がアクアコイン事業に支出されており、公費からの支出は、今後ますます増加することが予想されます。
- これらの支出を市民生活の向上等に遣えれば、どれだけの事業ができるでしょうか。

私は行政のムダを省き、市民福祉やサービス向上の視点から、アクアコインの無闇な利用拡大は止めるべきとの立場で、今後も議会等で取り上げていきます。



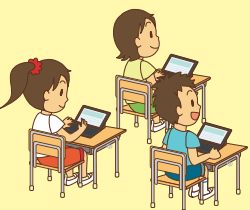
● 江川総合運動場は日本で最も危険な総合運動場になってしまう

- 令和元年に江川陸上競技場がオープンし、今年の10月からは野球場とサッカー場の工事に着工します。
- これらの施設は防衛省木更津飛行場周辺の国有地に造られ、年間およそ28,000回の自衛隊機と米軍機が離陸し(着陸も合わせるとおよそ倍)、そのほとんどが江川総合運動場の上空を飛行します。
- 運動施設なのでスポーツ少年団などの利用が多くなると思いますが、このような危険な施設の下で子どもたちに活動させて良いのでしょうか。何か事故が起きてからでは遅く、取り返しはつきません。上空を飛行する際の騒音も大きく、スポーツで大切な声の連携などもかき消されてしまいます。
- これらの建設費として、陸上競技場にはすでに4億円以上が支出され、サッカー場と野球場には約11億円もの予算が計上されています。
- これだけの公費を遣うのであれば飛行場周辺でなく、もっと安全な場所に総合運動場を建設し、子どもたちや市民の皆さんが思い切り、楽しくプレーできる環境を整えることが市の責任であるはずです。



● 学校教育について…教育現場から

- 昨年度、現場の教員は新型コロナウイルス感染症への対応に追われました。消毒作業や分散登校等、感染防止に多くの時間を割かねばならず、予算面の援助に加えて多忙化の解消に向けた人的支援等の方策を講じるよう市に求めました。
- 今年度からGIGAスクール構想によるICT教育が始まりました。しかし、タブレット等の機器に不慣れな教員もいて、教材研究や研修会等で多忙化の原因になったり、指導に困惑していると聞きます。これらの教員に対する支援が必要になりますが、むやみに研修等を増やすのではなく、支援員を増やす等による人的支援を市に求めました。
- 今年度からの小学校35人学級の開始、来年度からの小学校の教科担任制(算数・理科・英語などを実施予定)に伴い、教員の不足が懸念されます。現場の教員にしわ寄せがいかないよう市に計画的な対応を求めました。



● オスプレイの暫定配備について

- 米海軍所属オスプレイの機体整備が順次、実施されています。今後、米軍の要求がエスカレートして市民に危険が及ぶような体制づくりを市に求めました。
- 防衛大臣が岸 信夫氏に変わりましたが、令和元年度の河野防衛大臣との合意事項(特に暫定期間は5年以内であること、騒音の測定を実施することなど)を確認するよう市長に求めました。
- 昨年度に組織した「木更津駐屯地に関する協議会」を要綱通りに毎年1回開催し、市民の声から暫定配備に関わる問題点等を洗い出し、防衛省や木更津駐屯地司令などと共に解決に向けた方策を考え、市民に報告するよう市に求めました。
- 「木更津駐屯地周辺地域等振興事業費」「特定防衛施設周辺整備調整交付金」の使途に不明瞭な点がないよう、精査と市民への報告を市に求めました。



イメージ写真

● 地域公共交通について

- 「令和元年度第3回木更津市地域公共交通活性化協議会」では、参加者から市が運営するミニバスやコミュニティバス等への要望が見られたため、実施に向けた検討をするよう市に求めてきました。
- 6月定例会で、市が来年度から実施を予定している市内循環バスの実証運行について質問しましたが「運行主体はバス事業者であり、バス事業者の予定する運行計画や運賃で実証運行を行う。市が運営の中心となり、市内循環バスについて検討することはない」との回答でした。
- 令和3年度の当初予算では、生活路線バス維持のためにバス事業者への補助金として約6,700万円が計上されており、毎年、同程度の補助金が予算化されています。
- 今年度は「多様化する市民ニーズと人口減少・少子高齢化の進行を踏まえた生活の足を確保するため、今後の公共交通のあり方を示す地域公共交通計画の策定に向けた調査委託費」として1,000万円が予算化されています。この調査がどの程度、実を結ぶのかは分かりませんが、市が高齢者に運転免許証の自主返納を推進していることとの整合性が取れないなどの問題もあり、今後も社会に必要なこととして主張を続けていきます。



そのほかにもこのようなことを取り上げました

- エアコンが1台もない生活保護世帯に購入費の支援を。
例年、夏は酷暑となり、特に高齢者で熱中症によって救急搬送される方が増加していますが、厚生労働省の示した支援方針では不十分なためです。すでに実施している自治体も少なくありません。
- 台風被害を受けた農業者に実質的な援助を。
令和元年房総半島台風で多くの農業者が甚大な被害を受けましたが、木更津市の援助を受けられた農業者はごく僅かでした。要件が厳しく、提出書類も煩雑なためです。実質的な制度でなければ意味がありません。
- 木更津市心身障害児童福祉手当支給条例による支援額(月額4千円)の見直しを。
この条例は昭和44年に制定され、昭和54年に改定されましたが、その後の改定はありません。当時と現在とでは貨幣価値に大きな差があり、まして障がい者に必要な医療費等の負担も増加しています。
- 「オーガニックなまちづくり」は市民の理解を得られておらず、政策的にも予算的にも見直が必要。
2016年から始まった木更津市の看板政策ですが、昨年の市民アンケートでは「はじめて聞いた」「よく分からない」の合計は88.3%を占めています。毎年、偏った政策に多くの予算が組まれています。
- 緊急事態宣言下での「ドライブスルーマーケットwithナチュラルバル」などの経済イベントの開催について。
政府による緊急事態宣言中で、市からも「不要不急の外出は避けましょう」との放送が流れている時期の経済イベント実施の基準は何でしょうか。市が主催すれば市民の気持ちの緩みにも繋がりがねません。
- 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の使途については公平さを重んじるべきである。
昨年度、木更津市が受けた交付金は12億5千6百万円余りでした。この交付金の意図は困窮する市民や事業者への支援として、「きめ細やかに支出する」ことですが、一部の事業者に偏り、公平性に欠けています。

皆様のご意見等を是非お聞かせ下さい。

今後も微力ながら全力を尽くしていく所存ですので、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。